

在デュッセルドルフ日本国総領事館からのお知らせ

すり対策キャンペーン



ノルトライン＝ヴェストファーレン州警察は、急増する「すり」被害への対策として「Augen auf und Tasche zu! (かばんは閉じて気をつけて)」と題する防犯キャンペーンに取り組んでいます。簡単な防犯対策と危機意識ですりは予防できます。州警察による以下のすり対策マニュアルを参考に被害の防止に努めて下さい。

※出典：州警察ホームページ (http://www.polizei.nrw.de/artikel_9468.html)

★ すりは人混みを好む

公共交通機関、駅、空港、歩行者天国、メッセ及びイベント会場など多くの人が集まる場所ですりは獲物を探しています。すりの多くはグループで行動し、各自が役割分担しています。一人がターゲットを突き飛ばしたり、時間や場所を尋ねたりして注意をそらした際に、もう一人が財布や携帯電話等を盗んで逃走する、といった手口がよく見られます。このほか、買い物客が店で商品を選んだり、試着したり、会計する際は、すりに狙われやすいといえます。

★ すりの被害は高くつく

すりの被害者は盗まれた現金以外にも多くのものを失います。身分証明書や鍵の再発行にはかなりの費用がかかります。思い出の品や写真は二度と取り戻すことができません。スマートフォンに記録された注意を要するデータやプライベート写真も、見知らぬ者の手に渡ってしまいます。最悪の場合、銀行口座とクレジットカードから全ての現金が引き出され、身分証明書は買物などで悪用されます。

★ すりは目立たない

すりの多くはプロの常習犯で、盗みで生計をたてています。犯人らは事前に役割分担されており、誰にも知られることなく窃盗をはたらいて逃走します。被害者の多くは、かなりの時間が経ってから盗まれたことに気付くので、犯行現場で犯人を正確に見分けることは難しく、被害者や目撃者が犯人の特徴を覚えていることはほとんどありません。

「予防」こそがすりに対する最善の対策です。

★ よくある手口

○衣服にシミ・汚れを付ける

過失を装ってケチャップ、アイスクリーム、液体等を相手の衣服にかけた後、謝罪等を申し出ながら一緒に拭き取るふりをして、カバンから財布を抜き取る。

○人混みを利用する

バスに乗車する際、相手の前方で急につまずいたり、屈んだり、立ちふさがる。相手がぶつかったり、向きを変えようとしている間に共犯者が上着やカバン、リュックサックから貴重品などを盗み取る。

○地図や時刻表を利用する

地図を目の前に広げて道を尋ねたり、時刻表を見せながら駅までの行き方を聞いて、目的地まで同行するよう相手に求めます。相手が答えようとしている間に共犯者がカバンから貴重品などを盗み取ります。

○募金や両替を装う

紙幣の両替や慈善目的での募金を頼み、相手が財布を開けたところで、所持していた小銭を相手の財布に投げ込むなどした際に、素早く財布から紙幣を抜き取る。

すりの手口には他にも多くのバリエーションがありますが、確実に言えるのは、

すりは、「警戒心のない人」、「注意力散漫に見える振舞い」、「人の親切心」を利用し尽くす

ということです。十分な注意力、健全な懐疑心、正しい行動を心掛けることですりの被害を防ぐことができます。

★ すりを防ぐヒント

- 人混みの中では、自分を狙っている人がいると考えて行動しましょう。見知らぬ人から話しかけられた場合は、どんな状況でも注意して下さい。
- 貴重品や旅券などはカバンに入れず、一つにまとめず、ファスナーなどで閉めることができる上着の内ポケット等に収納しましょう。首にかけたり体に密着させる旅行者用貴重品袋がお奨めです。
- ハンドバッグやショルダーバッグは常にファスナーを閉じ、ファスナー面を内側にして肘で抑えるように所持して下さい。商店や歩道など人通りの多い場所では、リュックサックを背負わずにファスナーを閉じて持ちましょう。
- スーパーでは財布、携帯電話、鍵などを買物袋や買物かご、カートに入れず、会計の際にも財布を手から離さないようにして下さい。
- 荷物と貴重品から目を離さないようにして下さい。レストランなどでは、財布、携帯電話、鍵などを取り出してから上着をハンガーやイスに掛けて下さい。カバンは椅子の背にかけるのではなく、膝の上や床において両足ではさむようにして下さい。携帯電話はテーブルの上ではなく、ファスナーで閉まるカバン等に入れて下さい。

- 持ち歩く現金は必要最小額にとどめて下さい。
- キャッシュカードやクレジットカードに関する情報（口座番号、銀行コード番号、カード番号等）、携帯電話の製造番号（IMEI）をメモして置き、自宅から持ち出さずに大切に保管して下さい。
- 暗証番号、PIN コードはメモせずに記憶して下さい。

★ すりに遭った場合

すりの被害に遭ったり、すりを目撃した場合は、速やかに110番で警察に通報して下さい。

- すりがいることを周りの人に知らせて協力を求めて下さい。
- 被害に遭った人がいたら協力できるか声をかけて下さい。
- できる限り、犯人の外見的な特徴を覚えて、目撃者として協力して下さい。
- 身分証や旅券が盗難された際は、速やかに発行官庁に通報して下さい。
日本国旅券の盗難・紛失時は総領事館に届け出て下さい。
《在デュッセルドルフ日本国総領事館》
電話：代表 +49(0)211-164820、領事関係 +49(0)211-1648220
ホームページ（旅券関係）：
http://www.dus.emb-japan.go.jp/profile/japanisch/j_konsular/j1_passport.htm
- 財布が盗まれた場合は、警察署から銀行やカード会社に連絡してカード類を止めて下さい。各種カードの一括停止サービス等犯罪被害者支援を行っている「116 116」（フリーダイヤル）の緊急電話番号も利用できます。
- 自宅や車の鍵が盗まれた場合、速やかにシリンダーごと交換して下さい。

このほか、防犯に関する情報は下記のホームページでご覧下さい。

- www.polizei.nrw.de → Aufgaben → Kriminalitätsvorbeugung
- www.polizei-beratung.de

以 上